

希望の芽 第5号



明日から夏休み

あっという間の一学期でしたね。

みなさんは四月の参観日に、「わたしのモットー」を発表したことを覚えていますか。みなさんはそのとき自分自身を見つめ、目指したい自分を思い描いて、それぞれの「モットー」を発表してくれたことと思います。目指す自分に到達するのは容易なことではありません。でも大切なのは「なりたい自分」を見失わないことだと思います。

一学期の学校生活や行事の中で、みなさんが努力する姿、仲間と支え合う姿をたくさん目にしました。みなさん一人ひとりの成長を感じた、うれしい場面がたくさんありました。みなさんの「芽」は確実にたくましく伸びています。これからも仲間とともに切磋琢磨しながら、伸ばし合っていってほしいと思います。

明日からは夏休み。課題や部活動もありますが、いったん小休止です。エネルギーをためて、また二期から一緒にがんばっていきましょう。有意義な夏休みにしてください。元気なみなさんとの再会を楽しみにしています。



防災学習 クロスロードゲーム ～防災士の方々に講師を迎えて～

総合的な学習の時間に取り組んできた「防災学習」の一環として、「クロスロードゲーム」を行いました。これは、阪神淡路大震災の教訓を元に考案されたもので、災害などの時、いざという場面で命を守るためにはどのように判断すればいいかを考えるためのものです。今回は三好市防災士会から5人の防災士の方々をお招きして行いました。これまでの学習で出てきた疑問点などにも答えていただき、気づきや学びがたくさんありました。貴重な学習の機会となりました。

地震や土砂崩れが起きた時の対処法をクロスロードゲームで学ぶことができ、楽しかったです。班でも様々な意見が出て、どの意見も「確かに」と思うものばかりですごく勉強になりました。プロの方のアドバイスもたくさんいただいて、知らなかったこともたくさん知れたのでもし災害が起きた時に生かしていきたいなと思いました。

今日学んだ中で特に覚えておきたいと思ったのは、避難中のけが人への対応です。今までは、どのような怪我でも、その人を連れて避難所まで行けばいいと思っていました。しかし今日のお話で、重いけがの場合はむやみにその人を担いではいけないということを知りました。だから避難中にけが人を見つけた時には、そのことを思い出して対応したいです。

僕は災害が起きても落ち着いて行動できると思っていました。でも現実では想像以上に難しいことを知りました。考え方をええたり、違う視点から見たりすることで全く考えてなかったことや新しい考えがたくさん出てきました。初めて知った考えもあり、とても勉強になりました。

今回のクロスロードゲームでは1回の選択だけで結構変わってしまうことがよくわかりました。判断が難しい場合もあり、選ぶのに時間がかかりました。けれど、実際はそんなに時間をかけていられないし、一瞬の判断ですべてが変わり、最悪の場合は死に至る可能性もあります。だから1秒でも早く判断ができるようにしておきたいです。

クロスロードゲームをしていて思ったのは、みんな全然違う意見が出て、班の中ですら意見が一致しないということです。ゲームをする前は、「どうせすぐ意見が合うだろうな」と思っていたけど全然違いました。しかも違う意見に納得させられることもありました。このクロスロードゲームをしてなかったらわからなかったことや困ってしまうことが、災害が発生したときにたくさん出てくると思います。今日この経験ができて本当に良かったです。



グループの中でもいろいろな意見があって面白かったです。○×で同じ意見でも、考えていた視点が違って参考になりました。ハザードマップを家で見たことがなかったので、家の人に見せてもらって確認したいと思います。今日の話が家族として、地震や豪雨などから命を守るようにしようと思います。また、近所にお年寄りの方もたくさんいるので、自分にもできることを考え、少しは助けることができるようになりたいです。



防災のことについてあらためて理解を深めることができました。自分の住んでいる地域のハザードマップを見てみて思ったのが、土砂災害や洪水が多いことでした。そしてクロスロードゲームをやってみて、グループで話し合うことで、たくさんの意見や理由を知ることができてとても勉強になりました。こういった楽しいゲームで防災を学ぶことは、もっと知りたいと思うきっかけになり、とてもよい機会だと思いました。

私たちの住む池田町や三好市、徳島県には、過去に大地震などの震災、災害は起こっていないけど、南海トラフがもたらす巨大地震や、高い山々が原因となって起こる土砂災害など、危険がたくさんあります。その危険を事前に察知し、災害に備えることが大切だと思いました。家族と避難場所、安否確認について話し合っておこうと思います。また、閉じ込められた時には体力を残しておくことも重要だと知りました。誰かが助けに来てくれた時に自分に気づいてもらえるように落ち着いて状況判断していこうと思いました。

私は今回の学習をきっかけに家でハザードマップを見てみました。津波や土砂災害の危険性はないみたいだけど、家に一人にいるときのことを考えて一番近い避難所を探してみました。今回の学習でどんな時なら逃げるべきなのか、逃げないほうがいいのかを知ることができました。防災士の方々の話を聞いて、災害が起きた時、周りの人を助けられる人になりたいなと思いました。簡単に逃げられる人とそうではない人がいます。私の家の近所にもお年寄りの方がたくさんいます。その分若い人もたくさんいるので助けられたいなと思いました。

今日のクロスロードゲームは本当に難しいゲームでした。自分たちが学校にいるとき、家でいるとき、避難所のスタッフになったときと色々な場面を想定して考えることができました。私の家の下には中央構造線が走っているし祖母の家の裏には山があり、過去に崩れてきたこともあります。最近地震が多いので怖いと思ひ、家でいるときはほとんど一人なので地震が来たらどう行動したらいいのかわかりません。でもこの学習でみんなの意見を聞いて、これから災害が起こった時にみんなを助けられる正しい行動をとろうと思いました。母はいつも非常用のバッグや水を車に入れてあります。地震が来てからでは遅いので今から避難のセットを用意して、避難場所を確認するなど対策を考えていきたいです。



夏休み質問教室

夏休みは苦手教科を克服するいいチャンスです。夏休み質問教室では、2年団の先生方が質問に答えたり、一緒に考えてくれたりして、学習の手助けをしてくれます。日時は下の通りです。どんどん利用してください。

8月 4日(木) 13:00～
8月12日(金) 13:00～

場所：被服室ほか



